



# 六郷高校

NO. 64

令和3年  
6月23日

## コミュニティ通信

「笹竹の精神」が支える地域と福祉の未来！



### 卒業生進路講話が開催されました！！

5月31日（火）の午後、令和元年度の卒業生を3名をお招きして進路講話が行われました。まず、アネスト岩田株式会社秋田工場にお勤めの藤井涼花さんからは「高校時代に多くの友人を作り、大切な思い出をたくさん作ってほしい」というアドバイスがありました。ちなみに藤井さんは高校入学時から今の勤務先を目指し、積極的に説明会などに参加するなどの努力を欠かさなかったそうです。続いて、株式会社マカベに勤務されている新田朔哉さんから「恥ずかしがらずに自分自身をPRすることが大切」という助言をいただきました。新田さんの目標は「日本の産業を支える製品を地元で作ること」だそうです。



（後輩にアドバイスされている 藤井さん（写真左）と新田さん（写真右））

最後に六郷仙南社会福祉法人ルートピア仙南で活躍されている佐藤れみさんから話をいただきました。高校時代は福祉科に在籍し、実習や国家試験対策の勉強など忙しい毎日を送っていたようです。佐藤さんは、「実際の現場では教科書どおりに物事が進まない。」と日々奮闘している様子を話してくれました。また、利用者さんを看取る時の様子にもふれていました。六高生には「頑張る目標を変えながら自分なりに頑張っていくことが大切です。」という助言がありました。

＜生徒の感想より＞

- 自分の進路実現に向けて、やるべきことを1つ1つこなしたい。そして後悔しないように様々なことを考えて生活していきたい。
- よく考えると高校生活があと1年半くらいしか残っていない。時間が経つのは早いで進路の問題にしっかりと向き合いたい。
- 社会に出る前に人として求められるものを卒業まで身に付けたい。家族や先生など、色々な人に相談をして自分の行き先を決めたいと思う。



（福祉現場について話す佐藤さん）

## 交通安全講話が実施されました！！

第1回定期考査最終日の6月15日（火）に交通安全教室が開かれました。講師にはJAFより籾山雄介さんをお招きしました。講話の内容として、事故が発生する時期や時間帯、さらに事故の背景にある問題点などを丁寧に御指導いただきました。

＜受講者の感想より＞

- 一番印象に残っているのは、「周囲への思いやり」というキーワードです。自転車や自動車を運転する人や歩行者、双方にとって共通して大切なことだと思います。こういう気持ちを持つことが事故防止の第1歩につながると思います。
- 交通事故の現状について勉強できました。自転車を運転する時、加害者はもちろん、被害者にもなりたくないのルールを守ることが大切だと痛感しました。
- 交通事故が集中して発生する時期や時間帯があることに驚いた。また、交通事故に遭う確率が最も高い学年として中学3年生から高校1年生にかけてだと聞いて、また驚いた。自分自身がまずは交通事故気をつけたい。



## 聖火リレーボランティアがありました！！

6月8日（火）に福祉科2年生と1年生の有志が東京オリンピック・パラリンピックに伴う聖火リレーボランティアに参加しました。具体的な仕事内容として、聖火ランナーが走るルート交通整理補助や観覧に来ていた小学生の誘導でした。

＜参加者の感想＞



初めは仕事の段取りが見えず、どうしたらいいのか多少不安だったが、間近で聖火ランナーを見てオリンピックを直接肌で感じる事ができた。ランナーや沿道の観覧者だけではなく、実際に企画運営する裏方も含んだ地域としての強いまとまりを実感した。まだコロナウイルス感染のリスクは心配だが、オリンピック・パラリンピックが無事に開かれることを願いたい。

## マナーアップ声かけ運動がPTAも参加して実施されました！！

6月18日（木）と19日（金）の2日間にわたって、朝のマナーアップ声かけ運動が行われました。本校職員や生徒会役員以外にPTA役員の方々にも御参加いただきました。この場をお借りして御協力いただいた役員の方々にも厚く御礼を申し上げます。

